

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ医学特講演習		授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ生命科学)
担当教員名	安田 修・廣津 匡隆			補助担当者名		
単位数	2 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	運動が心肺機能や自律神経に及ぼす影響を心電図、超音波装置、心肺機能測定装置などを実際に用いて学ぶ。(双方型)					
成績評価の方法	□学期末試験の成績(%) ■授業への取り組み状況(80%) ■レポート等の提出状況(20%) を総合的に評価する。					
成績評価の基準	上記を合計して判断する。					
テキスト、教材 参考書	特になし(その都度プリントを渡す。)					
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	火曜日 10時~11時30分 保健管理センター					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	安田 修 廣津 匡隆	安静時心電図：お互いの心電図を実際に記録する。			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
2	〃	運動負荷心電図：トレッドミルを用いる。記録及び解析			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
3	〃	ホルター心電図 1：機器の取り扱いの説明及びホルターの装着 ホルター心電図 2：記録及び解析			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
4	〃	ベクトル心電図：PREDICTOR IIを用いて記録及び解析			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
5	〃	ヒス心電図：PREDICTOR IIを用いて記録及び解析			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
6	〃	体表面電位図：PREDICTOR IIを用いて記録及び解析(レートポテンシャルの有無など)			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
7	〃	自律神経機能検査 1：R-R間隔変動係数を用いる。 自律神経機能検査 2：PREDICTOR IIによるR-R間隔のスペクトル解析(LF/HF)			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
8	〃	自律神経機能検査 3：ダイビング反射試験のR-R間隔変動について検討する。			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
9	〃	自律神経機能検査 4：運動及び自律訓練のR-R間隔変動係数への影響を検討する。			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
10	〃	心エコー図 1：お互いの心エコー図をMモード法を用いて記録			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
11	〃	心エコー図 2：お互いの心エコー図を断層法を用いて記録			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
12	〃	心エコー図 3：お互いの左室流入血量などをドップラー法を用いて記録			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
13	〃	頸動脈エコー図 1：ドップラー法を用いて血流を測定する。 上腕動脈エコー図：阻血による直径の変化を測定し、内皮機能を検査する。			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
14	〃	心機能評価：実際に記録したエコー図を用いて心拍出量などを測定 運動負荷・心エコー図：トレッドミルを用いる。記録及び測定			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	
15	〃	自身の心エコー図よりの計測および以上の実習で得た知識で研究プランを立てる。			参考書・資料等の復習及び予習(1時間)	